

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

Rotary International District 2800
2016-2017



人類に奉仕する
ロータリー

地区方針・目標

ロータリーの意義・魅力の再発見と
奉仕・友情・自己研鑽の実践を

CONTENTS

- ・ 1年を振り返って
長谷川憲治ガバナー
鈴木一作ガバナーエレクト
上林直樹ガバナーノミニー
ホストRC会長・地区資金委員長・地区幹事
ガバナー補佐／大小委員長
- ・ 『RYLA 2017 in 山形』開催報告
・ 国際ロータリー第2800地区ローターアクト
第26回地区年次大会開催報告
・ 高畠RC創立50周年事業報告
・ 国際ロータリー第2800地区 山形米山学友会総会報告
・ オリエンテーションを終えて
- ・ 2016-2017年度 地区補助金に関するご報告
・ 青少年交換学生 月次報告
・ 2016-2017年度 クラブ会員・出席率
・ 会員のご訃報
・ 新入会員紹介
・ ボール・ハリス・フェロー／米山功労者

vol.13 長谷川年度 総括号



山形大花火大会 (山形市)

Rotary



国際ロータリー第2800地区
2016▶2017年度

ガバナー：長谷川 憲治
RI会長：ジョン F.ジャーム
RI理事：斉藤 直美
RI理事エレクト：石黒 慶一



「アッという間の、されど長かった1年」

国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度 ガバナー

長谷川 憲治

R I 第2800地区の2016-2017年度も、お陰様で予定していた全ての行事を無事に終える事が出来ました。ここ迄来る事が出来たのも、偏にご指導・ご支援頂いた皆様方のお陰であります。厚くお礼申し上げます。

振り返ってみますと、準備らしきものが始まったのはガバナーノミニディグネートの時ですから、もう3年以上前になります。当時の私は、ガバナー補佐はおろか地区に出向した事すらない全くの「ど素人ロータリアン」でした。どのようにロータリーを学び、準備したら良いか五里霧中でしたが、幸い私の前任の酒井さんも似たようなキャリアでしたので、酒井さんが勉強された事を教えて頂き、又酒井年度地区幹事の内藤さんには毎日のように教えて頂きました。又パストガバナーの皆様からも参考となる書籍を頂いたり、色々のご指導を頂きました。そして実質的なスタートとなる「第1回地区チーム研修セミナー」を皮切りに「国際協議会」「第2回地区チーム研修セミナー」「PETS」「地区研修・協議会」と続く一連のセミナーを無事に終える事が出来、漸くガバナー年度への準備が整いました。

ガバナー年度が始まると同時に公式訪問が始まり、楽しく有意義な50クラブの訪問を終える事が出来ましたし、最大のイベントであった地区大会も盛況裡に終える事が出来ました。予定されていた各委員会活動も、カウンセラー並びに各委員長初め委員の皆さんの頑張りで、それぞれ順調に終了する事が出来ました。又、各クラブに於いても活発で楽しいクラブ創りや意義ある奉仕活動を展開して頂いたと思います。

「ロータリーの意義・魅力の再発見と 奉仕・友情・自己研鑽の実践を」とした地区方針に関しましても、各種セミナーや公式訪問、更にはガバナー月信等で折に触れ申し上げてきましたが、少しはご理解頂けたなら幸いです。

又、他地区の地区大会にも北は北海道札幌から南は四国高松まで18地区もの大会に出席して来ましたが、地区大会やガバナー懇談会、ロータリー研究会等で一緒にする同期ガバナーとの交流も楽しく有意

義なものでした。更に4つのブロックのIMも主催しましたし、加えて今年度は何故か周年事業の当たり年で地区内8クラブの周年事業にも出席して来ました。大変忙しい1年でありましたが、それだけに「アッという間の1年」であったと思います。と同時に、重責を何とか全うしなければというプレッシャーと闘い続けた「されど長かった1年」でもありました。しかし、ガバナー職を終えた今となっては本当に貴重な経験をさせて頂いたと心から感謝しております。ご指導・ご支援・ご協力頂いた全ての皆様にお礼申し上げます。

只、心残りは数値目標3項目がいずれも未達に終わった事であります。各々につき実績を報告しますと、

- ①各クラブ1名の純増、年度末1,700名を目指す、とした会員増強は、6月末時点で1,592名。純増▲25名。純増達成クラブ13クラブ。
- ②150\$ / 人を目標とした財団への寄付は、6月末時点で117.70\$ / 人で達成率78.5%。目標達成クラブ12クラブ。
- ③15,000円 / 人を目標とした米山奨学会への寄付は、6月末時点で11,400円 / 人で達成率76.0%。目標達成クラブ9クラブ。

いずれも未達に終わった訳でありまして、己の指導力の乏しさを痛感し、反省しております。

それでも、寒河江さくらんぼRCが全3項目目標達成、8クラブが2項目目標達成をして頂きましたし、又当初の計画は下回ったものの財団への寄付は前年度比137.3%、米山への寄付も前年度比103.0%と伸ばす事が出来ました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

最後になりましたが、この1年ご指導・ご支援を頂いたパストガバナー・ガバナー補佐を初め地区役員・委員の皆さん、至らぬ私を支えて下さった伊藤地区幹事初めガバナー事務局と山形RCの皆さん、そしてR I 第2800地区の全てのロータリアンに改めて深く感謝とお礼を申し上げます。有難うございました!!



1年を振り返って

国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度ガバナーエレクト

鈴木 一作
(寒河江RC)

あつというまの1年間でした。人生で最も多忙な1年が「これからのガバナー年度」だとしたら、人生で最も早く過ぎたように感じる1年が「ガバナーエレクト年度」だったのかも知れません。

2回のGETS（ガバナーエレクト研修セミナー）と国際協議会での研修、そして2回の地区チーム研修セミナー、PETS（会長エレクト研修セミナー）、地区研修・協議会、クラブ事務局担当者研修会の企画運営、等々。次から次へとほぼ毎月のように開催されるそれらの準備や資料作成で、間違いなく目がまわるような1年でした。もちろん、これらをきちんとこなしていくことで、ガバナーとしての見識や覚悟、矜持が身についてくるのだらうと思います。そのためには、ガバナーノミニーの時に広く深くロータリーを学び、地区運営を考察し、諸先輩から多くの教を乞うたことが如何に大切だったかを思い知る1年でもありました。特に長谷川ガバナーと酒井直前ガバナーには、懇切丁寧なご指導と温かい

激励をいただきました。感謝と敬愛の念で、私の心はいっぱいです。

ところがこの1年、日本に目を向けてみると、品格や見識を疑いたくなるような偉い人が増えてきたような気がしてなりません。偉い人が立派でないと、世の中は悪くなる一方です。そういう世相だからこそ、我々ロータリアンは、Guy Gundakerが強調する「ロータリーは、立派なロータリアンを育てる」を大切に、次代を担う若者たちの手本や目標とならなくてはなりません。まさに、今こそロータリーです。

次年度は「美しい心、ロータリアンの矜持 ～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」を地区目標に掲げ、無骨で不器用ながらも純で真っすぐな懸命さを旨とし、真摯で誠実な地区運営を心がけていくつもりです。よろしくお願い申し上げます。



国際協議会で、みっちり研修中



1年を振り返って

国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度ガバナーノミニー

上 林 直 樹
(酒田中央RC)

112年前、1905年2月、シカゴに於いて誕生したロータリークラブ。

今では世界に200以上の国、35,000のクラブ、会員約122万人、そして日本では、2,200のクラブ、会員約89,000人、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の志を同じくするメンバー。

ガバナーノミニーの立場で、諮問委員会はもとよりクラブ奉仕、会員増強、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、インター、ローターアクト委員会、米山奨学、学友委員会、財団委員会等に出席させて頂きましたが、地区の大・小委員長、又、各委員の方々

のすばらしい活動に改めて敬意を表します。

私もロータリー歴30年で、ある程度理解したつもりでしたが、まだまだロータリーに対する勉強が足りなく、もっともっと勉強する必要性を痛感しました。

又、昨年初めて、国際ロータリー第1～第3ゾーンロータリー研究会があることを知り、7月と11月に参加し、11月名古屋でジャームR I会長とお会いし大変感動しました。

今年度、2018年7月からは2800地区、山形県では、初めてのR I理事として石黒慶一PGが出向されます。

2800地区はもとより、日本のロータリアン全員が一生懸命石黒PGを支えていかなければならないと改めて思いました。



地区幹事を 終えるにあたって

国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度地区幹事

伊藤 吉明
(山形RC)

一昨年の7月1日にガバナーエレクト事務所を開設してから2年が経過し、長谷川ガバナー年度が終了しました。長谷川ガバナーをはじめ佐藤地区資金委員長・地区幹事の私と地区での活動経験のない者ばかりで心細い気持ちでのスタートだったと記憶しております。

こうした中で、酒井年度の内藤地区幹事からは、ご自分の経験に基づき作成された「ガバナー事務所運営引継書」をお見せいただくとともに、「手続要覧」・「ロータリー章典」をよく読むようにとのアドバイスと何かにつけて質問をさせていただき適切なご指導をいただきました。また、地区事務所の菅野さんからいただいた「年間予定・推移表」により大まかなスケジュールを作成することができたことにも感謝しております。

最初の仕事としては、地区の組織を決めることでしたが、ガバナー補佐はじめ大小委員長、委員の方々には快くお引受けいただき、順調なスタートをきることができました。

ガバナーエレクト年度には、国際協議会出発歓送会、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会等多くの事業がありましたが、事務局スタッフはじめ山形ロータリークラブメンバーの皆様のご協力により所期の目的を達成することができたものと思っております。

ガバナー年度では、公式訪問に原則として随行者をつけることとし、山形ロータリークラブの多くのメンバーにご協力いただきました。他のクラブの例会に出席するのは初めてという会員も多く、良い機会になったようです。

また、地区大会では例年の講演会に代えて開催した「山形交響楽団記念演奏会」でロータリー発祥の地アメリカの音楽をお楽しみいただき、「会員懇親の夕べ」も大変に盛り上がり最後まで大勢の皆様にご参加いただきました。大会終了後、足立R I 会長代理から「真摯で気品のある素晴らしい地区大会でした」との長谷川ガバナー宛の手紙がありましたが、夜遅くまで準備にあたってくれ、また、当日も

ご協力いただいた実行委員会メンバーや山形ロータリークラブ会員皆様のお蔭と深く感謝しているところです。

これから決算作業がありますが、加えて、酒井年度の内藤地区幹事が作成されました「ガバナー事務所運営引継書」を五代地区幹事・資金委員長会議での議論を踏まえて今後の地区運営に生かせるようにアップデートしていきたいと思っております。

最後になりますが、この2年間大変充実したロータリー生活だったと思います。ご指導、ご協力いただきましたパストガバナーはじめ地区役員・地区委員の皆様ありがとうございました。

また、気長にご指導いただきました長谷川ガバナーと本当に頑張っていたいただきました榎森事務局長・副幹事の皆様、そして事務局の佐藤なみさんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。





「時の過ぎ行くままに」 1年を振り返って

国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度地区資金委員長

佐藤 松兵衛
(山形RC)

「時のたつのは早いもの」という言葉があります。これまでの人生の中で、何度も実感してきたことながら、いまホッとした気持ちで、この言葉をかみしめています。

長谷川憲治ガバナーは、山形RCが13年ぶりに第2800地区ガバナーとして送り出した山形RCのエースです。補佐する伊藤吉明地区幹事は卓越した人格と識見、榎森地区事務局長は若手のリーダーとして、二人ともクラブ内における信頼度は抜群。しかしながら地区資金委員長を拝命した私は、会計が全くの苦手なロータリーの知識は薄くなんとも不安なスタートでした。おまけにガバナーをはじめ地区幹事・地区事務局長・地区資金委員長のいずれもが地

区への出向経験が皆無に近く、まさに手探りの船出、薄氷を踏む思いでありました。

しかし、案ずるより産むが易し。個人の能力もさることながら、クラブメンバーの献身的ともいえるご協力と、佐藤なみさんという能力・気力・努力あふれる事務局員にめぐまれ、「時の過ぎ行くままに」1年が（というより、ノミニ・エレクト年度を含めた3年が）経ってしまいました。

長谷川ガバナーは、ガバナー月信の6月号に「一生もの」という一文を寄せられました。その中で、ロータリークラブはご自身にとって「一生もの」のクラブである、と言っておられます。長谷川ガバナーのRCに対する取り組みには遠くおよびませんが、RCに対する「一生もの」の思いは私も同じです。この1年を経て多くの方々の知遇、ご協力、ご指導をいただき、この思いをさらに強くした次第です。

心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



この1年を振り返って

国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度ホストRC会長

矢野 秀弥
(山形RC)

この1年余りの期間は2016-17年度長谷川憲治ガバナー体制での地区行事の支援と通常年度と同様のクラブ行事に明け暮れた日々となりました。

山形クラブとして野々村パストガバナー以来13年ぶりのガバナー輩出となりましたし、長谷川ガバナー以下伊藤吉明地区幹事、佐藤松兵衛地区資金委員長とも地区が初めてという初めてづくしの体制でのスタートとなりました。

しかし、RIジョン・ジャーム会長の掲げる年度テーマ「人類に奉仕するロータリー」の下、長谷川ガバナーはPETSはじめ各セミナー、各クラブへのガバナー公式訪問例会等でロータリーの国際的な貢献度の高さ、素晴らしさを訴え掛けられました。

加えてRIの規定審議委員会において大幅な定款の改正等が行われたため、RIの方向性と日本国内のRCとの間のロータリーに対する意識の違いが顕在化した年でもありました。長谷川年度においては

例会運営は従来を踏襲する形となりましたが、新年度においては県内各クラブ毎に従来とは違った方法でのクラブ運営が始まるようです。

そのような中の長谷川ガバナー年度でしたが、その結実した成果が地区大会ではなかったでしょうか。過去にはなかった大会との評価をいただきましたが、変わっていくロータリーを象徴したものとなったと思います。

そして山形クラブ会員として公式訪問で各クラブを回って得たものは大きいものでありました。少人数のクラブでも会員がそれぞれの地域においてしっかりとロータリー活動を実践している姿を見て、県内最初に設立され会員数も多い山形クラブとして、果たして本来目指すべきロータリー活動ができていくか反省することしきりでしたし、今後の活動の活性化を図っていかなければならないと自戒を込めてそう思いました。

結びに、この1年長谷川ガバナーを支えていただいた地区役員、委員の皆様へ感謝申し上げます。毎回の各クラブの公式訪問にご同行いただき、またクラブを挙げて地区行事の運営に尽力いただいた山形RCの会員の方々に深甚なる感謝を申し上げます。

1年を振り返って

1年を振り返って

第1ブロックガバナー補佐
赤谷 典夫(酒田スワンRC)



地区方針・目標「ロータリーの意義・魅力の再発見と奉仕・友情・自己研鑽の実践を」1年間、長谷川ガバナーが掲げられた方針に、おいていかれまいと、前のめりになりながら何とか追うことができました。

ガバナーの方針をブロック各クラブに伝える機会ごとにロータリーの意義・魅力を再発見し、ロータリアンの友情に支えられたのはむしろこの私でした。

奉仕と自己研鑽の努力は？ と問いかけ続け能動的でない自分を奮い立たせたこの1年、数値目標の達成に工夫をし努力するクラブ、おかれた現状の打開を模索する会長幹事、ガバナーエレクト輩出に一丸のクラブ、より深く担当5クラブを知ろうとした結果でしょうか、例会メイクアップで目にする日頃のそれとは違う感じをも得ることができました。

IMの開催はガバナーの指導を仰ぎそのあり方を再考し多数の参加をいただき、記念講演には2650地区の旧知の友好クラブメンバーを講師に迎えることができたのもロータリーの友情と奉仕のおかげでした。

解決すべきブロック内の諸問題は各クラブの会長幹事の努力と調整により、思いがけないほどスムーズに結論を得、会長幹事会の運営はまさにブロック内ロータリアンの様々な配慮と思いが感じられ学ぶことの多かった会議でありました。感謝申し上げます。

長谷川ガバナー、伊藤地区幹事、役員の皆さま、特にご協力をいただきました第1ブロックのロータリアンの皆様、そして酒田スワンロータリークラブ菅原会長とクラブメンバーに深く感謝を申し上げます。1年間ありがとうございました。

1年を振り返って

第2ブロックガバナー補佐
佐々木 源幸(余目RC)



身に余る役職を拝命し、自分には務まるのだろうかと不安でした。しかしながら、長谷川ガバナー始め、各クラブの皆様のお陰をもちまして1年間をなんとか終える事ができました。

まずもって、関係各位に御礼申し上げます。

会長職も、今や早いもので16年前となり、最近では地区セミナー等には、殆ど参加する機会もなく、ロータリーの何たる

かを忘れかけていた時期に、薄らいだ記憶を思い出しながらでしたが、ガバナーと、各クラブのパイプ役となり、第2ブロック内の会長、幹事の方々に少しでもお役に立てたのであれば幸いと感じています。

IMも我がクラブの梅津武雄実行委員長のもと、各実行委員の努力により無事終える事ができ、5月30日には、新旧の会長、幹事の引き継ぎも終え、また自分自身にとっても、ロータリーを学び、さらには貴重な体験の場を与えてもらったものと感じているところです。

各クラブの今後益々のご発展と新たに会長、幹事、役員となられる皆様の、ご活躍を祈念しております。

1年間、大変お世話になり、ありがとうございました。

この1年を振り返って

第3ブロックガバナー補佐
斎藤 栄一(天童東RC)



この1年、長谷川ガバナーの「ガバナー補佐」としてその役目を果たせたのか、大変心もとないところがありますが、所属クラブ内一会員としてかかわることとは別な視点でロータリーを見ることができ私は大変な収穫を得ることができました。

第3ブロック内の担当クラブ(天童・天童東・天童西・東根・東根中央)は5つです。それぞれのクラブにおいて地域の特性と歴史を踏まえて例会運営が図られていました。ロータリー運動は親睦から奉仕へ結びつけるという哲学がありますが、この理念が各クラブともしっかり根付いていると感じました。

天童RCや天童西RCには「クラブの歌」があり会員の意識を高め一定の方向に導く上で有効に機能していると感じました。天童東RCでは昼食後に「コーヒータイム」が設けられ会員間のコミュニケーション促進に大変貢献していると思われます。天童RCと天童東RCはスマイルを制度として定着させ会員のスマイルのひとつひとつに会員からの温かい拍手が送られ喜びが共有されて、会員間の気持ちを和らげる役目を果たしているようでした。

天童RCでは月1回その月の誕生日該当者を「ハッピーバースデーの歌」でお祝いするなど和やかな雰囲気を生み出しています。

東根RCは創立50周年を迎え例会運営を的確に行い歴史を感じさせてくれました。東根中央RCは前年度15名の会員増強を果たし勢いを感じさせています。特に、新年会やフィナーレ例会への参加の機会を得ましたが、会員間の交流の実をあげられていたようです。

限られた紙面では各クラブのロータリー活動を多面的に触れることはできませんが、かかわった各クラブでは地域の特性を生かしながらロータリーが確実に根付いているように思います。

最後に、この1年、第3ブロック南エリアの会員の皆様と長谷川ガバナーをはじめ地区の役員の皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

1年間を振り返って

第3ブロックガバナー補佐
佐藤 勝也(村山RC)



1年半前の11月、米沢での地区大会の始まる朝に、AGを引き受けて、こんな大役を務められるかどうか心配しつつ来てましたが、時間だけは他に関係なく過ぎて行ってくれました。長谷川ガバナー『純増1名以上会員増強』の地区の目標方針・指導のもと、クラブ協議会・公式訪問と最上町・新庄市・尾花沢市・村山市と北部地区7クラブ（1周250kmを4回）をガバナーの廻る50クラブの半分以下の距離と思いながらも、会員増強も達せられず。目標も距離も遠く長いなあと感じられました。

東根RC50周年・天童RC60周年の記念式典への出席、第3ブロック最大の行事でありましたIMの開催。村山RCのホストクラブとしての会員家族の全面的な協力、長谷川ガバナー・講師の藤川パストガバナーの指導、又、来賓及び会員の皆様の支援・出席により成功裡に終わる事ができました。色々な行事に出席できた事、貴重な体験をさせて頂いた事、長谷川ガバナー・第3ブロックの皆さま、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

補佐の1年を振り返って

第4ブロックガバナー補佐
工藤 亮輔(河北RC)



早いもので、あっという間の1年の月日が流れてしまいました。

補佐を引き受けるにあたり不安でいっぱいでしたが、ブロック内の会長・幹事さんをはじめ会員の皆様のご協力により、何とか職責を果たすことができました。

ブロック内事業としてのIM、ゴルフコンペの開催等、担当クラブの絶大なるご協力をいただき、それぞれが成功裡に履行できましたことに心から感謝いたします。

ブロック内クラブ訪問では、好意と友情をもって温かく迎えていただき、各クラブさんそれぞれの特色ある運営を学ばせていただきました。あるクラブでは会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも地域のニーズに沿った奉仕活動など、特色あるクラブ運営に尽力されていることがうかがえました。

大変貴重な体験をさせていただき、苦しくも楽しい1年間であり、多くの感動をいただきました。

最後に、ご指導いただきました、長谷川ガバナー、ブロック内の会長・幹事さんをはじめ、会員の皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

1年間を振り返って

第5ブロックガバナー補佐
長沢 一好(山形南RC)



2016～2017年度 長谷川ガバナーよりガバナー補佐を拝命してその役目をようやく終える事が出来まして安堵しているところであります。

2016年2月の地区チーム研修セミナー、3月のPETS、4月の地区研修、協議会とスタート前より、ロータリーの知識も無い者が果して1年間務めることが出来るのか、毎日が不安で一杯でした。背中を押してくれたのが山形南ロータリークラブの会員の皆さんであり又、ご協力ご指導を頂き本当にありがとうございました。

長谷川ガバナーの目標とする例会の充実、会員増強、財団法人山形奨学会への協力等は、自分が担当した山形RC、山形北RC、山形南RC、山辺RC、中山RCはそれぞれ各クラブの会長、幹事さんが目標を掲げて頑張っておられたものと考えます。

又、ガバナーより特にご指導頂きましたIMの見直しと充実化、ロータリーをもっと勉強しようという思いを、担当クラブである山形南RCの絶大なるご協力により達成出来たものと思われまます。

特に基調講演はRI理事コレクト石黒慶一パストガバナーより「これからのRCについて」と題して直近のRIの会議や事業等を紹介頂きました。

次に池田徳博パストガバナーからは「ロータリー財団100年について」を表題に説明して頂きました。有難う御座いました。

最後に私自身がガバナー補佐として仕事を全う出来たかは大変疑問ではありますが、長谷川ガバナーをはじめ地区役員の皆さんよりご指導頂いた事と、各クラブの会員の皆様にご協力賜り厚くお礼申し上げます。

1 年を振り返って

第5ブロックガバナー補佐

中山 眞一(山形西RC)



今年度は、ジョン・F・ジャームR I 会長が「今、ロータリーはいわば転換期となる歴史的に重要な局面に立っています」と表明されている様に特別な年度でありました。R I は2016年の規定審議会後、ロータリーが、今まで「人道的奉仕団体」として、奉仕活動にあまりにも比重が置かれすぎたものを、これからは「奉仕活動を行っている会員から成る団体」として会員の特性と奉仕活動の均衡のとれた状態に戻す方針の様であります。

ポール・ハリスは「奉仕という言葉より役に立つという言葉の方がより控えめであって、恐らくはるかに適切である」と述べています。確かに、奉仕のプロでない実業人が行っていることであり、各クラブの社会奉仕に費やされる金額が、年会費のうち少額である実態なども考慮すれば、控えめの方が外部の誤解を生まないのかもしれませんが、むしろ、選ばれて入会してきた会員を今まで以上に大切にこそ会員増強も達成でき、さらに魅力ある団体になるものと期待されます。

この規定審議会を受けて今後の運営ビジョンを決定し、細則を変更する年度でもありました。具体的には、各クラブ独自で入会資格・例会の回数・会員の種類別年会費への変更の必要性の有無などを予算を含め、中長期的な判断から検討する年度となり、やりがいもあるが、例年以上に苦労も多かったのではなかったかと拝察いたしております。私自身も大変勉強になった1年でありました。会員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

1 年を振り返って

第6ブロックガバナー補佐

齋藤 栄助(米沢中央RC)



長谷川ガバナーの下で第6分区分A班、米沢4RC（米沢・上杉・中央・おしょうしな）と高畠RCの5RCのガバナー補佐をさせていただきました。

長谷川ガバナーの数値目標である3項目の結果では

1. 会員の拡大（純増一人以上）は5RC全てのクラブ達成（特筆すべきは米沢クラブの6名増）
2. PH財団100周年を契機とした1人150\$は米沢中央RC達成（米沢上杉は限りなく100%に近い）
3. 米山記念奨学会への寄付1人15,000円は押しなべて残念な結果です。

2つのクラブでこの1年は実に記念すべき年でした。高畠

RCは50周年、米沢中央RCは30周年と大きな節目の年を更なる飛躍を目指した素晴らしい式典を挙行されました。ガバナーの地区方針「ロータリーの意義・魅力の再発見と奉仕・友情・自己研鑽の実践を」この契機にまさに具体化された各クラブの活動だったと思います。私は力不足でしたが支えていただいた各RCと全ての皆様方に御礼を申し上げます。

2016～2017年度を振り返って

第6ブロックガバナー補佐

今 良明(小国RC)



長谷川ガバナーが、ガバナーエレクト国際協議会に出席する為の出発歓送会に出席したのが、私のガバナー補佐としての初めての活動でした。その後、各セミナーやPETS等に出席して改めてロータリークラブの活動の大切さを実感いたしました。2016年になり、4月頃より第6ブロックB地区7クラブの担当となっておりましたので、各7クラブを前任の芳賀AGと新旧交代の挨拶に訪問してみますと、各クラブ毎にその特色ある活動方針には目をみはるものが沢山ありました。地域に根を下ろしている活動（特に、公園等の整備活動）等については共感を覚えました。6月に入り、各クラブのクラブ協議会に出席させていただきまして、特に感じたのは、会長・幹事さんの年齢が若返ったように感じました。又、将来的に会員の減少対策について、色々な考えを持って活動されている事にもたいへん前向きで良い事だと思いました。IMの開催を待ていよいよ、長谷川ガバナーの各クラブ公式訪問が開始され、各クラブ毎に活動計画等の確認、ディスカッション等にその活動計画のより良い導き方にロータリー活動の奥の深さを垣間見た様な気がします。約1年3ヶ月という期間ではありましたが、ガバナー補佐として、長谷川ガバナー・地区役員の皆様方、各クラブのロータリアンの皆様方と交流を深め、今後の私のロータリー活動の糧になったか計り知れません。ますます、ロータリーの奥深さを追求して参りたいと思います。

1年を振り返って

1年を振り返って

クラブ管理運営委員会

委員長 **五十嵐 慶三**(山形RC)



管理運営委員会の役割と責務は、各クラブが効果的に運営を行なうため、手助けとなり、地域社会に奉仕、会員の増強、リーダーとなる会員を育成することです。例会は、会員がロータリーを体験する大切な場であり、創意工夫を凝らし、毎週楽しく参加して頂けるような雰囲気を作り出すことが大切です。積極的に参加することによって、クラブが実施している活動や、地域社会における奉仕活動にも、関心が集まり、会員同士の絆が深まっていくのです。

地区方針に基づき、例会の充実、講師の選定、運営の工夫にポイントを置いて、活動を行なっていました。また、長谷川ガバナーより、「ロータリーの魅力発見」という内容で、アンケート調査を行ないました。

※問1～3：Yes / No回答方式

- 問1. あなたはRCに入会し、良い出会いや友情は深まりがありましたか？
- 問2. あなたはRCに入会し、自己研鑽に繋がったと思いますか？
- 問3. ご自身の所属するRCの特徴、良いところを教えてください。
- 問4. 例会でこれまでお聞きし、是非ご紹介したい講師、卓話テーマを教えてください。
- 問5. 例会で会員相互の交流や友情を深めるための運営上の工夫を教えてください。
- 問6. その他、今年度の地区目標、「例会の充実」取り組まれている事をお聞かせ下さい。

結果、Yes回答がほとんど、No回答はゼロでした。各回答の内容を分析すると、例会の運営の仕方、内容に対する期待度が特に大きく、相互参加交流によって、連帯感、友情が深まり、各種イベントや奉仕プログラムへの取り組みにも、大きく影響を及ぼす。会員同士の親睦が図れることによって、次の目標達成、成功へと導かれる。やはり例会の充実、クラブ運営には欠かせない、重要な責務であると実感いたしました。

なお、このアンケート調査報告書は、各クラブさんに、既に配布させて頂いております。今後のクラブ運営や例会講師の選定等に、是非ご活用頂きますよう、お願い申し上げ、当委員会からのご報告とさせていただきます。1年間、ご協力誠にありがとうございました。

1年を振り返って

クラブ管理運営委員会ロータリー情報小委員会

委員長 **鈴木 悦郎**(大江RC)



長谷川憲治ガバナーの、地区方針・目標「ロータリーの意義・魅力の再発見………」と、具体的目標の一番目「例会の充実」を主眼に委員会活動をさせていただきました。

その実践の一つとして、「ロータリーを愉しいと感じる時」を演題に、ご依頼頂きましたクラブの卓話に行かさせていただきました。私自身のロータリーは、正直苦しい場面もありますが、時折「ロータリーって愉しい」と感じるのも事実です。その思いが、私にとっての「ロータリーの意義・魅力」や、例会への出席を駆り立てる一つでもあります。そんな私の、ささやかなロータリー談で、最新情報の無い卓話になってしまいましたが、私の本音でした、ロータリー情報への一助になれば幸いと思い、お話をさせていただきました。

ガバナー月信6月、長谷川ガバナー「一生もの」での「一生ものの仕事」「一生ものの伴侶と家族」「一生ものの友人や仲間」「自分のベストイヤーは常に最後の年だ」は、「ロータリーの意義・魅力」を語る、長谷川ガバナーの言葉を頂いた思いです。

長谷川ガバナーありがとうございました。

この1年を振り返って

クラブ管理運営委員会クラブ25小委員会

委員長 **守屋 文夫**(酒田スワンRC)



クラブ25小委員会では、今年度4つの活動計画を立てて出発致しました、大きな変化は無かったようですが、会員増強・退会防止・クラブ奉仕・社会奉仕等、それぞれに素晴らしい活動をされたのではないのでしょうか、さらなる活動をご期待申し上げます。

又、7月2日(土)クラブ奉仕グループ(クラブ管理運営委員会・会員増強委員会)合同セミナーが山形ビッグウイングで開催され、多くの会員が出席され有意義な一日だったと思われま。セミナーで多くの皆様の意見を拝聴していると、重要だと思われる点は、会員の高齢化と今後の展望、会費の問題やクラブ運営のための資金不足のこと、クラブに対する地域社会の認知度やイメージのこと、会員を勧誘するとき自信を持ってロータリーを語り勧誘できない悩み、他にも色々ありましたが以上に要約できると思います。ただ、会場の都合で少し声が届きにくかったことが悔やまれました。

1年を振り返って 大小委員長

手続要覧は129ページ(238ページ)から9ページ(118ページ)に激減しています。手続要覧がロータリーの基本とするならば、何を基準にすればよいのか、パソコンの出来ない方々はどうすれば良いのか等、さらなる会員減少の要因にならないか心配です。

1年を振り返り、地区の委員として大きな協力も出来ず、只、無為な1年を過ごしたような気がいたします。大いに反省しています。ご協力いただきましたロータリアンの皆様方には感謝申し上げます。これからもロータリーの一員として活動していきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

1年を振り返って

会員増強委員会

委員長 **坂部 登**(山形西RC)



2016-2017年度 長谷川憲治ガバナーのもと、会員増強委員長として指名を受け活動をしてまいりました。今年は単に会員増強ではなく世界や日本のRC状況と比較し山形県2800地区の現状を数値的にまとめてみました。

	人 口	会 員 数	加 入 率
世界	73億5500万人	122万7000人	1/6000人
アメリカ	3億2000万人	32万6000人	1/980人
日本	1億2000万人	8万9000人	1/1340人
山形県	124万人	1650人	1/750人
山形市	25万人	420人	1/600人
米沢市	8.5万人	184人	1/460人

会員数/その国の人口 で世界のRCを調べました。

加入率が高い国は北欧三国です。

フィンランド 1/580・ノルウェー 1/450・スウェーデン 1/410
同じヨーロッパでも

フランス 1/2000・英国 1/1630・ドイツ 1/1500

スイス 1/640・オーストリア 1/1080 ぐらいです。

アジアでは

韓国 1/765・台湾 1/700・フィリピン 1/3800

インド 1/8600・シンガポール 1/6700

このような数字はなかなか集計されませんが、おもしろいデータだと思います。

そして、山形県は日本で一番高い加入率です。

さて「あなたのクラブは元気ですか」私は今年、RIのクラブの健康チェック・会員満足度アンケートの資料を参考に自分のクラブのアンケート調査をしました。

集計は来年度に公表しますが、各クラブにおきましても来

年は会員満足度アンケート調査をしてみましょう。そして、そのデータを参考に元気なクラブづくりに取り組んで下さい。

1年を振り返って

会員増強委員会広報小委員会

委員長 **高橋 真己**(南陽東RC)



当委員として1年を振り返ってみますと、長谷川ガバナーは、2016-2017年度 2800地区方針目標の中で、会員の増強について、真のロータリアンになる人を勧誘し、責任をもって教育するとして、各クラブ最低1名の純増、年度末1,700名を目指してスタートしました。

広報小委員会としまでも、増強につながる広報をと、積極的にマスコミ等に取り上げていただくべく図ったのですが、目立った活動もできずに終わってしまい、反省しているところであります。

ただ、地区大会の際、テレビ等で、「End Polio Now!」というロータリーの大きな取り組みのひとつを大々的にアピールしていただいたことは、大きな効果があったものと思います。

1年間の皆様の御協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

この1年を振り返って

職業奉仕委員会

委員長 **富樫 松夫**(鶴岡RC)



今年度、地区職業奉仕委員会では次の5項目を重点目標に活動して参りました。

1. 職業奉仕についてのセミナー並びに講演会の開催
2. ロータリアンの行動規範唱和の推進
3. 例会での会員(自社の経営(企業)理念・経営方針・沿革・特徴等)のスピーチの場を
4. 例会スピーチの応需(出前卓話)について、各クラブからの要請に積極的に応じて参ります。
5. 各クラブにおいて職業奉仕フォーラムの開催の推進

まず1のセミナー並びに講演会については、セミナーは和田廣職業奉仕カウンセラーを講師に3ブロックに分け、延べ154名の参加、講演会は4月2日天童ホテルで開催、足立功一(釧路北RC)様を講師に迎え職業奉仕についてのお話を頂き、125名の参加をして頂きました。大変有意義なセミナー並びに講演会だったと思います。

4については、ガバナー事務所で把握されている出前卓話

は8クラブより要請が有り職業奉仕についての卓話をしております。

2、3、5についてはPETS並びに地区研修協議会で会長・幹事・委員長さんにクラブでの取組みをお願い致しましたが、この件については、職業奉仕委員会が積極的に関われなかったことを反省しております。又、1年間の取組みから、新入会員も含め、ロータリーと他の奉仕団体との違い等、アプローチの大切さを痛感した1年でした。結びに長谷川ガバナーをはじめ、伊藤地区幹事、地区委員並びに事務局スタッフ、ロータリアンの皆様の寛容な心で接して頂いた事に心より感謝致します。ありがとうございました。

青少年奉仕 インターアクト小委員会報告

青少年奉仕委員会インターアクト小委員会
委員長 **九里 廣志**(米沢RC)



インターアクトクラブを持つ各校の顧問の先生たちのきめ細やかなご指導の下、アクトメンバーたちの校内外での日常活動は活発で、周辺地域の多くの方々の笑顔を生み出す原動力になってくれていると確信しています。その各校の成果を地区大会で伝えあい、より効果のある活動へとレベルアップしてくれていることはとても嬉しいことです。

地区外研修では、九里学園の大滝顧問の協力を得て、JICAの「地球広場」での研修や、トルコ大使館付属の「東京ジャーミー」でのイスラム文化の学習、ケニア大使館見学などの海外に目を向ける活動の他に、『水』をテーマにした研修なども行いました。隅田川を水上バスで遊覧しながら、来る2020年に開催される東京オリンピック時の水上交通の有効性について考えてみたり、渡良瀬遊水地の見学では最近多発している水害防止にどのような備えがあるのかについて学習してきました。帰路では、東日本大震災時の原発事故から必死に立ち上がろうと頑張っている大熊町の「じじい部隊」の方々の活躍の様子をつぶさにお聞きし、まだまだ事故からの復興には程遠く、課題の多い福島の実現を学んできました。

このような多彩な活動が行われているインターアクトクラブです。もっと多くの中学・高校に広めていただきたいと思います。まだインターアクトの支援をしたことの無い各クラブに、スポンサーになれないかどうかを検討してみたいと思っています。

1年を振り返って

青少年奉仕委員会ローターアクト小委員会
委員長 **大竹 一晴**(南陽東RC)



地区のローターアクト小委員長を拝命して2年が過ぎようとしている。1年目は何もわからず終わってしまったが2年目は少しではあるが理解できるようになった気がする。

我々ロータリアンの役割は何かを少し落ち着いて考えられるようになった。

ローターアクトの若者たちとお付き合いをさせていただく度にむしろ彼ら彼女らに教えてもらうことが多い。そして彼らの純粋な奉仕の心に胸を打たれ感動する。

我々ロータリアンが彼らにしてあげられることは何だろうか？最近その方向性が見えてきた気がする。最大の課題はやはりメンバーの確保ではないだろうか？このことは2年目に入るころから気にはなっていた。やはりある一定の人数を確保しないと活動自体ができなくなる。現在そういう状況に既になってきている。合わせて文教大学のローターアクトクラブを長谷川ガバナーの取り計らいで訪問し学長とも話をすることができた。そこで見えてきたものは一般ロータリークラブのメンバーに比して彼らが非常に厳しい環境におかれていることでした。収入もない彼らが学校からの補助もなく提唱クラブの補助金だけで活動しなければならない現状にありました。

このような問題の解決にこそロータリークラブがもっと手を差し伸べる箇所だと思います。3年目の最終年はこの問題を解決の方向に向かえるよう頑張りたいと思います。

RYLA(Rotary Youth Leadership Awards)を終えて

青少年奉仕委員会RYLA小委員会
委員長 **前田 昌信**(長井RC)



2014年12月からRYLA小委員会が始まり、2017年5月20日土曜日、やっとRYLAが始まりました。ここまでの道のりはRYLAを開けないジレンマがあったり、開催するにも方法を探ったりでとても長く感じました。

1時半からオリエンテーション、ミーティングでは参加者の表情は硬く、委員会メンバーの緊張感もあり静かで咳払いも響く様な始まりでした。場所を移動し霞城公園、山形美術館でのウォークラリーでは自己紹介も終わり、緊張感はあるものの幾分打ち解けた様子が伺えました。霞城公園内にある旧済生館や民間の山形美術館など興味を引く物が多かったのか設定時間より大分遅い到着となりました。参加者の中にもよく通るところですが、初めて知ったことがあるといった意見

が見られました。

初日の研修会は山形市長 佐藤孝弘氏による『地域を担うリーダーとして』という題で講演して頂きました。政治家には 1. ビジョンや目標 2. 決断し責任を取る 3. 説得する力が大切である。実際には仙台との連携や、医療を中心とした街創りをして行きたいといった内容でした。東北では4番目に若い市長のスピーチに皆さん食い入るように見られていました。

夕食の後の懇親会はお酒が入ったこともあり日中の暑さも手伝ってか連絡先の交換をしたり、スパゲティーでゲームをしてとても親しくなり夜遅くまで語り合った様です。

5月21日は七日町周辺に移動してのウォークラリーです。知っている道知らない道がありましたが、ほとんど車を運転して通るので歴史的に知らないことがあったり、新しい物を見つけたりの連続でした。参加者は山形の方が多かったのですが、改めて意識したことが多かったようです。

二日目の研修会はガバナーエレクトの熱き男鈴木一作氏です。題名は『リーダーとは』。立派な人になること。結婚の条件にある誠実、責任、信頼、正義、優しさ、勇気のある人、それがリーダーであると謳われました。私にとっては納得させられる事の多い研修でした。

あるロータリアンからは「前田さん、みんな人を集めるの大変だね。何してんなや。」参加者は「最初は面倒くさかった、でも、参加して面白かった」といった意見が大半でした。しかし、参加者を書いて頂いた感想を見る度、この事業は参加して頂いた方の為にある。「参加して良かった」「チャンスがあったら参加したい」。ロータリアンとして生きるならこういった意見を糧にして参加者に寄り添うべきと考えます。

参加して頂いた方々、長谷川憲治ガバナー、矢野秀弥会長を始め山形ロータリークラブの皆様、山形ロータリークラブの金山知裕委員長を始めとするRYLA委員会の皆様、地区のRYLA小委員会の皆様、青少年奉仕委員会の黒澤守大委員長、関係各位に感謝を申し上げ、RYLAの報告といたします。

依頼の原稿は「1年を振り返って」でしたが、「RYLAを終えて」に代えさせて頂き、私の感想とさせて頂きます。1年間ありがとうございました。

1年を振り返って

青少年奉仕委員会青少年交換小委員会
委員長 遠藤 伸一(寒河江RC)



今年度、3年目という委員長最後の年でもありました。

委員長就任時から、この素晴らしいプログラムをどの様に皆さんに伝えていけば良いのだろうか、1年、1年の活動をいかに意義あるものにし、結果を出していかなければと。

それにはまず、委員会活動を楽しく、達成感、感動のある

ものにしていこうと考え、行動して参りました。少しずつではありますが、ロータリアンに認知してもらい、今年度は、近年にない4名の派遣学生をお世話する事ができました。これもいっしょに頑張ってくれた委員の皆さん、青少年交換関係OBの皆さん、地区事務所で青少年交換の事務関係をお願いし、実現して頂いた新関PG、そして事務局菅野さん、各年度のガバナー事務所関係の皆さん、まだまだ多くの方の係わり、応援があり感動の活動ができました。

この、青少年交換活動を一言で言えば「繋ぐ」だと思います。

ロータリアンが子供達に、先輩が後輩へ、留学生が良き親善大使となり次の派遣生を受け入れてもらえる事、来日学生が日本を好きになり母国に帰って伝える事、すべて、交換の歴史と共に繋がっていると思います。この委員会で、地区活動に参加できた事に感謝しております。

最後に、長谷川ガバナーには1年お世話になった上、素敵なエールを頂きました。

最終オリエンテーション閉会挨拶前、突然大きな声で「遠藤委員長ご苦労様」とエールを頂きました。いつもサプライズで皆を感動させる事を仕掛けていた私が、最後に長谷川ガバナーに感動させられてしまった。楽しい1年でした。ありがとうございました。感動。

この1年を振り返って

社会奉仕委員会
委員長 武山 茂(天童東RC)



社会奉仕委員会が国際奉仕委員会と共に地域奉仕グループの括りになって久しくなりました。H19年にCLP(クラブ・リーダーシッププラン)が導入され、各クラブの委員会配置の違いはあれ、社会奉仕委員会は奉仕に関わる事業推進から奉仕事業専門の推進委員会となった感が強いのです。

この1年を振り返ると社会奉仕委員会の仕事は3つに集約されます。

- ①各クラブが独自に継続してきた事業。
- ②地区補助金を利用した新たな事業。
- ③東日本大震災の避難者支援とロータリー希望の風奨学金の推進……等々であります。

以上の三項目の内、二項目以上の事業を行っているクラブが増加しているのは頼もしい限りです。四年目を迎えた新地区補助金の活用推進が各クラブの組織奉仕事業の活性化に繋がっているのが大変嬉しく思います。

社会奉仕委員会の奉仕事業のもう一つの括りに“単年度事業か継続事業か”があります。奉仕事業を受託する側にとって継続を望む事業が沢山あり、私たちにとっても大切な事です。しかし地区補助金の予算枠内で各クラブの補助金

等を審査するにあたり、継続事業の承認額を抑えて、初回申請クラブや新規事業を優先せざるを得ない訳であります。

ロータリー財団委員会のご努力のもと、3年後に地区へ戻ってくる財団寄付(DDF地区財団活動資金)が増加傾向にあり、“地区補助金”の予算増加が見込まれます。現在の地区補助金利用クラブは60%ですが、100%に向かって邁進して頂ければと思っています。さらなる地域奉仕へのご協力をお願いして1年間の御礼とします。

1 年を振り返って

国際奉仕委員会

委員長 **遠藤 隆一**(山形中央RC)



過ぎ去ってしまうとアツと言う間のことで、この1年間も何も具体的な成果を上げられずに過ぎてしまったなあーと後悔の念が浮かびます。

数年前からの制度の改革で国際奉仕活動の具体性が見えにくくなってきていました。委員長個人としては何度か卓話にお招きをいただきましたが、逆に、そのクラブでの活動についてお話を伺う機会になることがありました。

前回の当委員会のアンケート調査では、全く見えてこなかった多くのクラブでの国際交流活動についての情報を得ることができたのは、来年度に向けての大きな収穫でした。

グローバル補助金を用いての国際奉仕活動も今年度はありませんでした。しかしながら、先日開催されたロータリー財団委員会で、来年度のグローバル補助金活用の事業の承認がありました。数年前のタイ国での国際奉仕事業と同様のものになると思われます。それから、第2800地区内での国際交流も、国際奉仕活動の一環として認めようとの指示もあり、来年度の新しい活動目標として、実行を目指したいと考えています。

1 年を振り返って

米山奨学委員会

委員長 **大久保 章宏**(山形南RC)



2年目の地区米山奨学委員会委員長を担当し、色々な事にチャレンジさせて頂きました。今年度は9名の奨学生枠でスタートし、前年より少ない奨学生と活動を共にして参りました。特に選考試験での採用で、奨学期間の違いで翌年の採用枠が異なります。応募学生の状況により、大学の所在地等多くの要素が絡んできます。採用試験での判定が一番と悩ませ

る事です。しかし今年度も海外応募枠を採用して、新モンゴル学園より一人採用出来た事は良かったと考えております。

寄付増進では、5月現在10,000円の大台に乗せる事が出来ない状況です。今年度は財団100周年等色々な要因が重なった年でもあり、苦戦しているのが現状です。要因色々あっても寄付増進出来なかった事は、委員長として力不足を痛感しております。全ロータリアンにしっかりと米山事業の大切さを理解頂く事が出来なかったと反省しております。次年度は委員長担当最後の年度として、色々な改革、変更、そして活動を行ってきた集大成として全力で委員全員活動を目指して行きたいと考えております。

米山奨学事業は、日本の全ロータリアン参加の国際奉仕事業であり、奨学生育成事業であります。地区内のロータリアンの皆様方が米山事業を推進している事を誇りに思い、奉仕活動を目指して頂ければ幸いです。今後とも米山奨学事業に皆様方のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げ、報告とさせて頂きます。1年間ありがとうございました。

1 年を振り返って

米山奨学委員会米山学友小委員会

委員長 **菊地 政人**(白鷹RC)



今年度で2年目が終わりました。いろいろ感じたことがあります。

異国の地で自分の将来を見据え勉学に励む多くの米山奨学生。奨学生の親代わりとなるカウンセラーのロータリアン、サポートする世話クラブの方々。

母国で、日本で活躍する学友の皆さん。

そして何よりも奨学基金に深くご理解をいただくロータリアン。一人のロータリアンの思いがクラブを巻き込み世界に影響を与えていく。

文化や風習、環境など様々であっても思いは一つだと感じました。

1年を振り返って

地区学友委員会

委員長 **沼澤 岩夫**(長井中央RC)



昨年11月26日、東京海洋大学 品川キャンパスにおいて第6回日本ロータリー学友会全国総会に出席の機会がありました。全国より80名を超す学友又は地区委員長が出席していました。東北よりは青森・宮城・福島そして2800地区からは私だけの出席でした。

ロータリーの財団奨学制度を利用し、世界各地に留学、研鑽し、現在多方面で活躍されていることにロータリアンとして大変うれしく思いました。また、27日は東京駅前JPタワーにおいてロータリー財団100周年記念シンポジウムが開催され830名の参加でした。

緒方貞子博士が「ロータリー学友人道世界奉仕賞」を受賞されて、その後国連事務次長に中満 泉氏が任命されるなど奨学生の活躍に誇りを感じました。これからを担う子供達・青年達にロータリアンとして少しでも後押しを続けていかなければいけないと強く感じ、一年間の総括とします。

1年間、御指導・御協力いただいた委員地区会員に感謝します。

ありがとうございました。

補助金・奉仕プロジェクト委員長としての1年を振り返って

ロータリー財団補助金・奉仕プロジェクト委員会

委員長 **小松 栄一**(寒河江RC)



長谷川年度でロータリー財団補助金・奉仕プロジェクト委員長を拝命して最初の仕事が2月の補助金管理セミナーでした。地区チーム研修の翌週にセミナーをやるから準備をと言われ、大急ぎで資料を揃えたのを覚えています。そして3月になると長谷川年度の地区補助金審査が始まりました。実働は7月からかなと思っていましたので、助走に入る前にトップスピードで走らされたような感覚でした。その後地区財団活動について勉強させていただきましたが、まだまだ私自身のロータリー財団に対する理解が浅く、会員の皆様に上手く説明しきれておらず、そんな自分を不甲斐なく感じています。

地区財団活動は、地区補助金とグローバル補助金の二本立になっています。地区補助金の活用に関しては大分ご理解をいただけるようになったかなと感じていますが、グローバル補助金の十分な活用には至っておらず今後の課題と考えています。ロータリー財団の活動を理解していただくには、アーチ・クランフの「世界で良いことをしよう」を实践すること、実践に一步でも近付こうと思うことが重要ではないか

と思います。今後はこの言葉の実践に向けて会員の皆様と共に進んでいきたいと考えています。

財団セミナー開催

ロータリー財団資金推進・管理委員会

委員長 **三浦 信英**(白鷹RC)



日々財団に向けたご理解と、貴重な活動に敬意を表します。長谷川年度もほぼ半年。財団では当年の寄付目標額1人150\$達成に向けて、更なる活動とご協力をお願いするため、11月5日山形グランドホテルに於いてセミナーを開催いたしました。

セミナーには125名の出席をいただき、午前10時点鐘、12時まで貴重な時間に耳を傾けていただきました。

プログラムは、長谷川ガバナーの挨拶、そして新聞委員長から財団チャートをもとに、わかり易くお話があり、委員長として達成に向けた強い決意を示されました。

つづいて、資金推進担当より150\$達成の諸対策例を参考事例として紹介し、各クラブの取り組みを推進するように促しました。

◎事例

- ①PHFを会員10人に1人をモットーに進めてはどうか。
- ②*250運動、例会毎に250円を。
- ③*500円例会、食事代を月一回500円とし、他を寄付。
- ④財団例会を月一回設定。その例会で1000円を。

※事例のどれか一つ、また各クラブ独自の対策をもって実現することを進める。

つづいて、地区補助金(DDF)活用クラブ(2015~2016)27クラブ中、代表して5クラブ(新庄、寒河江、南陽、新庄あじさい、村山ローズ)から、貴重な活動報告をいただきました。お蔭様にて、他クラブの良き参考となり感謝申し上げます。

最後に、小松奉仕プロジェクト委員長の補助金活用に絞った端的な説明があり、「わかり易く参考になった」との出席者からの一言をもって閉会となりました。

『RYLA 2017 in 山形』開催報告

5月20日(土)～21日(日)に山形市内各所におきましてRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を開催しました。テーマはく『まちの魅力 再発見！』～歩行ラリーを通したリーダーシップ研修～で、参加者は38名でした。

初日の研修会は、佐藤孝弘山形市長の「地域を担うリーダーとして」と題しての講演。佐藤市長も山形市政の話は良くするけれども、リーダー論を人前でお話するのは初めての事らしく、リーダーの3条件を経験談を元にわかりやすく説明いただき、とても熱のこもったお話でした。

2日目の歩行ラリーは季節外れの猛暑の中で行われましたが、給水所などを設けて十分な暑さ対策をしたのと参加者の熱意の方が勝っていたので、無事に終わることが出来ました。また歩行ラリーのコースは山形の歴史と文化に触れる設営にしたので、新たな街の魅力を発見することが出来たとの声を多くの参加者からいただきました。

その後の研修会では、鈴木一作ガバナーエレクトから「リーダーとは」と題して、ユーモアを含めた熱いお話を聴くことが出来ました。参加者は多くの気づきを得ることが出来たと喜びの感想を述べていました。



閉講式では、長谷川ガバナーから1人ひとりが終了証を手渡しで受け取り、楽しく充実した2日間が終了しました。

RYLA実行委員会 実行委員長 金山 知裕（山形RC）

国際ロータリー第2800地区ローターアクト 第26回地区年次大会 開催報告

5月27日、国際ロータリー第2800地区ローターアクト第26回地区年次大会を開催致しました。ご来賓の皆様や地区ロータリアンの皆様をはじめ、友好地区ローターアクトからは、第2520地区（岩手・宮城）・第2530地区（福島）・第2560地区（新潟）・第2590地区（神奈川東部）・第2830地区（青森）の皆様よりお越し頂き、懇親会も含め総勢69名のご参加となりました。



今大会のテーマは『28∞（無限大）のチカラ 酒田の地から。』としました。新たな仲間を増やし、新たな活動に取り組んでいくことなど、可能性を模索しながら活動した年度の、集大成の場としたいとの思いを込めました。

今大会の特別企画として、ペットボトルキャップ回収によるポリオワクチン支援活動も行いました。ご来賓の皆様にもご協力頂き、合計62kgものキャップを集めることができました。これは、ワクチン9人分相当の寄付となります。予想を超える皆様のご協力に、まさに無限大のチカラを感じました。

式典では、長谷川憲治ガバナーをはじめとするご来賓の皆様よりご祝辞を頂きました。式典に続いて活動報告では、地区からはグアムの全国研修会について報告し、各クラブからは活動報告に合わせて、それぞれホストを務めた地区行事について、鶴岡RACより夏季交流会、米沢RACよりアクトの日（東北鍋フェス）、南陽東RACより冬季交流会について報告がありました。今年度は例年以上に他地区のアクターと交流を深められる機会が多かったことを振り返ることができました。

式典後、庄内で短編映画を製作された中村雄季様によるご講演を頂きました。メンバー募集・脚本から撮影までを企画メンバーで手掛けたお話で、『人を巻き込むことに重要なものは「愛」』という言葉が印象に残り、活動への取り組み方はアクトにも活かせる部分だと感じました。

皆様のご協力により、懇親会も含めて盛会となりました。至らぬ点多々あったかと思いますが、皆様に喜んで頂ける大会となり、うれしく思っております。この大会を通じてアクターとして成長できた部分もあり、今後に活かしていきたいと思っております。

国際ロータリー第2800地区ローターアクト代表 阿部祐一朗

高島ロータリークラブ創立50周年事業報告

新緑の風が爽やかさを運んでくれる6月3日(土曜日)、高島町文化ホール「まほら」に於きまして、高島ロータリークラブ創立50周年記念式典を開催いたしました。当日は、長谷川憲治ガバナー、寒河江高島町長を始め多くのご来賓と地区内ロータリアンの皆様方のご出席を頂きました。

開会点鐘の後、10年間の物故会員10名の方々への黙祷を行い、その後福島会長の式辞で、今まで支えて頂いた方々への感謝と、50年後の創立100周年には現在の中学生位の子供たちがロータリークラブの中核の会員として、活動をしてほしいという趣旨のお話がありました。

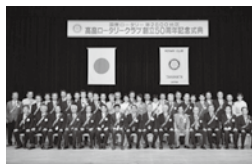
スポンサークラブの米沢ロータリークラブ・米沢上杉ロータリークラブへ感謝状の贈呈、当クラブ発足時からのメンバーの後藤康太郎さんに感謝状の贈呈を行いました。記念事業として、高島中学校に校旗制作費として110万円の贈呈、青少年育成事業支援金として30万円の贈呈を行い、ご来賓の方々よりお祝いのご挨拶を頂きました。

その後「酒場詩人・ライター 吉田類」様の記念講演では、酒場放浪記の話などを興味深く拝聴しました。

会場を「米織観光センター」に移しての懇親会では「チンドン屋・456座」の演奏の中開始され「クロストーク」のジャズ演奏を聴きながらの進行でした。吉田類氏にも同席して頂き、大いに盛り上がったところです。

創立50周年を契機として「温故知新」の精神の下、クラブ誕生時の苦労を忘れることなく、語り継ぎ活動を続けていくことが私達の使命であると考えております。今回節目となります記念事業を終え、次なる60周年、そして100周年に向けたスタートをようやく切れたのではないかと思います。これまで以上に豊かな思い出を語れるように力を尽すことをお誓いし、ご報告とさせていただきます。

創立50周年事業実行委員長
長谷川春海(高島RC)



山形米山学友会奨学生歓迎温泉懇親会報告

6月17日(土)・18日(日)、第2800地区山形米山学友会奨学生歓迎温泉懇親会が東根温泉「青松館」にて開催されました。奨学生、学友12名、米山奨学委員会は長谷川G、藤川PGを含め15名、計27名の参加を頂き和やかに行われました。学友会総会が既に終了し議案全て可決されていますので、学友会総会決議内容を報告頂きました。奨学生、学友、ロータリアンが交流する大切な機会です。皆さんと意見交換、情報交換ができて有意義な交流会が出来たと思います。

最初に現状の米山奨学会の活動報告、奨学生10名での活動、次年度より月信掲載の原稿の依頼、写真掲載の承諾等のお願いを行い皆様方よりご了解頂きました。次年度採用奨学生枠が1名増、順調に地区米山奨学委員会活動が推移している事、今後もなお一層の協力をお願いしました。

新学友会会長高吉嬉先生より、学友会総会の報告、規約の変更、人事の変更等の内容を報告頂き、会計担当のガリド君より決算報告が行われ無事に総会が終了した旨の報告が有りました。高新会長より、奨学生の皆様方との交流を多く企画し、意義ある学友会運営を行って行きたい旨のお話を頂き、ロータリアンにも協力を頂きたいと呼びかけられ、参加者より拍手喝采にて新会長をバックアップする体制を整える事を約束しました。奨学生スピーチでは、来年卒業を迎える奨学生より、「山形に就職する」旨の話が有り、学友会の将来にも明るいニュースを提供頂きました。本当に嬉しい事です。

7月スタート予定の「学友会HP」今回製作頂きました米沢ロータリークラブ会員の田中龍之介氏より説明頂きました。HPとFacebookが連動します。最終の原稿を確認し7月にスタートします。HP活用が奨学生、学友の皆様方の情報交換のツールとなる事を願っています。ロータリアンの皆様方にも情報発信をしていきますので、是非ご活用ください。改めてご案内します。

最後に今回の開催するにあたり、山形学友会の高新会長には色々のご協力を頂き大変助かりました。準備頂きましたG事務所、地区事務所の皆様方に心より感謝申し上げ報告とさせていただきます。

米山奨学委員会 委員長 大久保章宏(山形南RC)



オリエンテーションを終えて

派遣候補学生 **菊地 真穂**
(スポンサーRC: 寒河江RC)



ロータリークラブの皆さんこんにちは。私は山形西高等学校1年の菊地真穂です。寒河江ロータリークラブにスポンサークラブをして頂いております。この1年間、ロータリアン、ローテックスの皆様大きく成長する機会を頂いたこと、心より感謝しております。また今日まで同じ派遣候補学生としてオリエンテーションに参加し、準備を進めてきた仲間である3名の先輩方と共に派遣に臨めることを心から嬉しく思います。

正直なところこの1年、大変だと思うことも沢山ありました。ですが、あの時ご指導頂かなければ、スプリングキャンプを始めとするオリエンテーションの一つ一つをこなして来なければ、出発の前にこれほど派遣について真摯に向き合えなかったと思います。

1年前、派遣生に手を挙げて本当に良かったと深く感じています。

ロータリークラブの皆様が作り上げて下さいました恵まれた環境の中、親日国である台湾へと出発出来ることを心から感謝いたします。

将来、私が経験してきたことが次の候補生の道しるべとなるように頂いたチャンスを大切にします。皆様これからもよろしくお願いいたします。



派遣候補学生 **佐藤 ひかり**
(スポンサーRC: 酒田中央RC)



6月17日。私たち派遣候補学生は出発前最後のオリエンテーションを終えました。初めてのオリエンテーションの時、出国までは長い道のりだな、と思ってしまいましたが、今となってはあつという間の準備期間だったなと思います。

ロータリーの派遣候補学生として準備してきたこの8か月で、人と関わるが増えました。オリエンテーションやスプリングキャンプなどの中で、来日学生やROTEXの先輩方、ロータリアンの方々…。地域や県を越えてたくさんの方々と出会いました。国内でこんなに出会いがあるなんて、正直思ってもみませんでした。その方々から頂いたたくさんの協力や助けが無ければ、ここまで来ることが出来なかったと思います。本当に感謝しています。

私は今、着物の着付けを習ったりハンガリー語の勉強をしたりしています。着物を着てハンガリー語で日本の素晴らしさ、山形の良さをプレゼンするのが私の目標の内のひとつです。日本、山形を代表する親善大使としての務めを果たすだけでなく、人として何倍にも成長して帰国出来るように頑張ります！これからもよろしくお願いいたします。



派遣候補学生 **小林 由佳**
(スポンサーRC: 山形西RC)



ブラジルへのお出発まで残り2週間となりました。今までのオリエンテーションを通して沢山のひととの出会いがありました。ロータリアンの方々やスプリングキャンプで出会ったoutbound、inboundの方々、これから出発する候補学生みんなでの1年間成長を支えて頂きました。私の行くクリチバという町は、66人の交換留学生が来るのでこれからの様々なひととの出会いや、関わりを大切にしていきます。

スプリングキャンプでは、外国での危機管理など、いろいろな場面を先輩方がシチュエーションを想定して下さいました。2日間ほとんど寝ないでスピーチを考えて自分が行く国の言葉で最後に決意表明をしました。オリエンテーションの中で一番成長できました。

最後のオリエンテーションでは、ロータリアンの皆さんからの応援メッセージと先輩3人からの温かいお手紙を頂きました。お陰でこのような素晴らしい機会を頂いたのでみなさまのお気持ちに応えるように頑張ってきます。



派遣候補学生 **小林 ましろ**
(スポンサーRC: 鶴岡RC)



去年の9月の面接から全6回のオリエンテーションが終わりました。

オリエンテーションにはお忙しい中毎回委員会の皆様、時には30名近くの皆様からご出席いただき、派遣中や派遣先でのことを教えていただいたり、書類の作成をしたりしてきました。オリエンテーションを重ねていく中で、行動に対する意識の持ち方、自分の意見を話すことの大切さやその伝え方、挨拶や常識、行動、相手に求められていることは何かなど、直接的に派遣とは関係なくても、人間としてとても大切なことを学んでいきました。5回目のオリエンテーションの時に長谷川ガバナーが「面接の時には幼いという印象が強かったですが、今ではずいぶん成長されましたね。」とおっしゃいました。派遣を前に少しずつ成長できているのかなと思うと嬉しかったです。

オリエンテーションをしていく中で、たくさんの人の協力があって私の派遣があるんだということを学びました。ここまで協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。精一杯頑張ってきます。



2016-2017年度 地区補助金に関するご報告

2016-17地区補助金使用可能額(DDF)	\$37,909 (4,397,444円)
2016-17地区補助金承認総額(DDF)	\$37,134 (3,787,669円)
2016年7月ロータリーレート	1\$=102円

No	クラブ名	活動の種類	内 容	実施場所・対象
1	鶴岡RC	地域社会の発展 (一般)	金峰山登山道整備。プラ擬木階段資材費および取付労務費。登山道の清掃奉仕活動。	金峰山登山道
2	酒田東RC	地域社会の発展 (一般)	飯森山公園の「アジサイ園」環境整備と園内の清掃活動。アジサイ苗の購入費。	飯森山公園の「アジサイ園」
3	新庄RC	教育(一般)	東北少年少女柔道大会運営への参加。柔道用畳借り上げ費用および表彰品購入費。	柔道大会
4	立川RC	地域社会の発展 (一般)	花の名所作り。風車村入口付近に芝桜を植栽。芝桜の苗および肥料等購入費	風車村入口付近
5	余目RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	障がい者の方々を対象にしたフットサル大会およびオーバー40・50サッカー大会の開催。会場使用料、表彰品、参加賞購入費用。	障がい者の方々 オーバー40・50
6	山形南RC	地域社会の発展 (一般)	山形の地域文化・歴史的文化である「寒晒し蕎麦」の製造過程、大寒のときに行なう「水づけ(冷水に浸す)」への貢献。水づけで使用する新しい衣装の購入費用。使用後は山形種類組合にて保管し、今後毎年使用する。	山形種類組合
7	山形北RC	地域社会の発展 (一般)	山形市街地と蔵王を結ぶ新たな市道(山形永野線)沿い1kmへのヤマブキ植樹。ヤマブキの苗および土地改良剤購入費用。	山形市街地と蔵王を結ぶ新たな市道「山形永野線」
8	大江RC	地域社会の発展 (一般)	大江町の新しいシンボルとなる新築される大江町中央公民館へ、大江町出身者の方々のモニュメントを寄贈。また、新築された公民館で地元団体と共同で町民を対象に「料理教室」「お菓子作り教室」「英会話・国際交流会」等の実施。「料理教室」「お菓子作り教室」「英会話・国際交流会」等の材料費他。	新築される大江町公民館
9	寒河江さくらんぼRC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	知的障がい者授産施設「寒河江共育成園」の活動支援並びに利用者との交流。施設利用者の作業風景、並びに家族とのイベント等の映像・画像の保存と共有のためのプロジェクター・スクリーン・デジタルカメラ購入費用。	知的障がい者授産施設「寒河江共育成園」
10	南陽東RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	南陽高校IAC・南陽東RACと連携して、振り込め詐欺被害の未然防止推進と啓発ポスター掲示活動。ポスター製作費用およびのぼり旗等購入費用。	南陽高校IAC・南陽東RACと連携 振り込め詐欺被害の未然防止推進
11	上山RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	知的障がい者と中高生・大学生・一般ボランティアで市民公園の清掃活動及び交流会。会場費・交流会開催費用。	知的障がい者・中高生・大学生・一般ボランティア
12	天童RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	幼児・小学生・老人クラブの方々への読み聞かせの実施。幼児・小学生向け絵本と大型絵本、大型紙芝居および関連品購入費用。	幼児・小学生・老人クラブの方々
13	山形東RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	知的障がい者へスポーツの場を提供するスペシャルオリンピックスへの支援。スペシャルオリンピックスの活動を撮影するデジタルカメラおよび日常トレーニングする為の運動用具購入費用。	知的障がい者へスポーツの場を提供するスペシャルオリンピックス
14	山形西RC	教育(奨学金)	モンゴルから山形大学へ留学している、ガラバドラフ ムンドルさんへの奨学金。	ガラバドラフ ムンドルさん
15	新庄あじさいRC	保険(疾病)	地域医療崩壊を防ぐための適正受診啓発活動。啓発用クリアファイルを作成し、適正受診への理解を深めてもらうために、乳幼児を持つ親へ配布。啓発用クリアファイル作成費用。	乳幼児を持つ親
16	米沢RC	教育(奨学金)	九里学園高等学校へ留学している中国からの留学生羅松さんの校納金の補助。	九里学園高等学校へ留学している中国からの留学生羅松さん
17	鶴岡南RC	教育 (ボランティア奉仕)	知的障がい者を選手とするフロアーホッケー大会の開催。会場費・表彰品・広告費・保険代他大会運営費。	知的障がい者
18	鶴岡西RC	教育(一般)	市内サッカースポーツ少年団6チームが参加するサッカー大会の開催。表彰品・参加賞他。	サッカー大会
19	寒河江RC	教育(一般)	寒河江RC・台湾斗南RC青少年短期交流(各10名)。送迎・移動用レンタカー代および歓迎会費用。渡航前説明会費用および渡航保険代他。	寒河江・台湾斗南の中学生・高校生・大学生
20	山形中央RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	山形市内特別支援学級の中学生と社会福祉施設利用者で「日本一の芋煮会」当日の参加が難しい人たちに別日程で芋煮会を体験して頂くと同時に会場となる河川敷の清掃活動。特別支援学級の中学生にサッカー教室・バスケット教室を通して多くの人々との交流を図ってもらう。清掃活動用具購入費用および芋煮会材料費。	山形市内特別支援学級の中学生・社会福祉施設利用者
21	米沢おしょうなRC	教育(一般)	小・中学生を対象とした少年剣道大会の開催。会場費・表彰品購入費・プログラム制作費他。	小・中学生を対象とした少年剣道大会
22	河北RC	教育(一般)	放課後児童クラブを示すための看板の設置。放課後児童クラブの子供たちへの読み聞かせの実施。看板設置費用。	放課後児童クラブ「ちびっこ放課後西里児童クラブ」
23	天童西RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	放課後児童施設「長岡つば児童クラブ」の一輪車教育・競技大会への支援。一輪車20台と収納台、収納 TENT 購入費用。	放課後児童施設「長岡つば児童クラブ」
24	酒田スワン	地域社会の発展 (一般)	山形県指定民俗文化財である黒森歌舞伎で使用する草履購入費用。歌舞伎公演への参加及び写真撮影等による継承と保存への協力。	黒森歌舞伎
25	酒田湊RC	教育(一般)	市内の小学校および特別支援学校への環境図書支援。書籍購入費用。	酒田市内の小学校および特別支援学校
26	米沢上山RC	地域社会の発展 (一般)	E・M(Effective Microovgaisms)の蘇生力を利用して、河川と上杉公園の堀を少しずつ浄化させ、環境保全を推進する。E・M液を使用したドロ団子を作成し、定期的に河川と上杉公園の堀へ投入。ヘドロバキューム作業。E・M液、土、ゴム手袋他購入費。水質調査、ヘドロバキューム作業費用。	河川・上杉公園の堀
27	天童東RC	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	知的障がい者施設の協力のもと、観光地や人が集まる場所にプランターの花を飾り美しい街づくりをPRする。天童「道の駅」噴水公園の周りに円形花の植え込みを造園。プランター及び花苗購入費用。公園植え込み作業費。	知的障がい者との美しい街づくり
28	中山RC	教育 (ボランティア奉仕)	豊田小学校野草園の整備と観察道増設、案内看板設置。豊田小学校児童とのヒメサユリ球根植え付け作業。観察道の延長に伴う新たな橋および案内看板設置費用。ヒメサユリ球根購入費用。	豊田小学校野草園
29	ライラ小委員会RC	教育(一般)	地区RYLA。RYLA2017in 山形『まちの魅力 再発見!』～歩行ラリーを通したリーダーシップ研修～ 会場費。	地域のリーダーとなるべき18歳～30歳位までの社会人

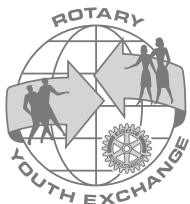
2016-17年度地区補助金使用可能額(DDF)\$37,909のうち、\$37,134を上記プロジェクトに使用致しましたことをご報告申し上げます。
なお、2017年6月29日に行われた監査会にて、地区補助金が適正に使用されたことを確認致しました。

2017年6月29日

国際ロータリー第2800地区、ロータリー財団監査委員会

委員長 伊藤明彦
委員 本間芳隆

青少年交換学生 月次報告



國井 修人 さん

派遣国名 ブラジル

ホストRC Rotary club curzeiro do sul

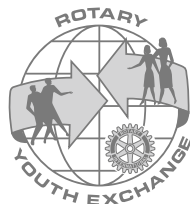
スポンサーRC 寒河江ロータリークラブ

皆さん、こんにちは。國井修人です。

6月20日をもちまして、私の最初で最後の交換留学に終止符が打たれました。あっという間の11ヵ月、留学を決心した者にしか出来ない経験をしました。二度と忘れない、そしてこれから生きていく上で絶対に役立つものになると信じています。

今思えば、海外で約一年間暮らし、最後まで留学をやり遂げたのが自分でもすごいと思っています。留学する前は、日本以外での生活に「心配」と「不安」しかありませんでした。誰も知らない世界、未知の言語、見知らぬ人々など様々な謎に立ち向かい、乗り越えなければなりませんでした。当然、出来なければ強制送還もあり得るので余計に緊張しました。そして去年の7月、初めて日本を飛び出しブラジルに到着。私の留学生活が始まりました。同時にそれは地獄の3ヵ月の始まりでした。文化、食べ物など慣れないことがたくさんありましたが、この期間で一番辛かったのはコミュニケーションでした。英語もポルトガル語もほとんど喋れない状態でホストファミリーと良好な関係が作れず、部屋に引きこもる時間が長く続きました。自分からトライする気持ちもあったのですが、ホストファミリーの言っていることを理解できないと怒られたり、放っておかれたりするので気持ちの面でも辛くなる時がたくさんありました。「本当に3ヵ月耐えられるのか。希望は出てくるのか」と日に日に思いながら、地獄の期間を耐え抜きました。

その先にはちゃんと天国が待っていました。ホストファミリーの言っていることが不器用ながらも分かるようになり、会話が生まれました。ファミリーからも「3ヵ月前とは全く違う。おめでとう！」と言われ、涙が出ました。恐怖の念しか抱いていなかったファミリーに誉められ、家族の一員として迎えられたこの出来事は一生忘れられません。自分の心の闇を照らしてくれた光のようでした。3ヵ月の間、辛くて泣いてしまうこともありました。早く帰りたいと思うこともありました。でも、なんとか耐えて希望の光を見つけました。この出来事のおかげで、私は最後まで自分の留学を成功させることができたのです。本当にあのときの自分は凄かったんだな、と今でも思っています。自分の忍耐もそうでしたが、何より留学面でのサポートをしてくれた家族、寒河江ロータリークラブ、どんなときも温かい心で私の面倒を見てくれたブラジルのホストファミリーの支えがあったからです。本当にありがとうございました。これからは、自分を支えてくれた全ての人々に感謝をし、精一杯人生を楽しんで生きていこうと思います。本当にありがとうございました!!!



志田 峻平 さん

派遣国名 台湾・斗南

ホストRC 斗南ロータリークラブ

スポンサーRC 寒河江ロータリークラブ

皆さんこんにちは！

台湾に来て早いもので10ヵ月が経ちました。台湾に居られるのも残り2週間となりました。台湾に来たばかりの時には、言葉もわからず毎日必死でした。早く帰りたいな～と思うこともありましたが、今はまだまだ台湾にいたい、時間がほしいという気持ちでいっぱいです。台湾で過ごす残りの2週間を十分に楽しみたいと思います。

そして、今月は私の17歳の誕生日でした。留学生3人とそのホストファミリーで台南に旅行に行きました。そこでメキシコの留学生も同じ6月生まれだったので、一緒に誕生会を開いてもらいました。17歳の誕生日は、ホストファミリーの人たちにいっぱい祝ってもらい、忘れられない誕生日になりました。今思うと、私は素敵でやさしいホストファミリーに恵まれて幸せだったと思います。ホストファミリーの皆さんには、とても可愛がっていただき、よくしてもらいました。そして、たくさんの経験をさせてもらいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、今月の16日で学校を卒業しました。学校では修了式をしていただきました。学校の友達にも、とても仲良くしてもらいました。日本語を話せる人がいて、最初のころは本当に助けてもらいました。

デンマークの留学生が、30日に帰るので27日からずっと台北にいて一緒に遊びました。デンマークの留学生とは学校も同じだったので、一緒に時間が多かったこともあり、最後の空港での別れの時には、とても寂しく悲しかったです。7月10日には、2人目のアメリカの留学生も帰っていきます。5人いた留学生が次々に帰っていくので、本当に寂しい気持ちでいっぱいです。

7月13日で、私の留学生活も終わります。本当にいろいろなことがありました。終わってみると、すべて良い経験ばかりでした。今まで私は夢がありませんでした。今、台湾の大学に進学するか迷っています。台湾でのこの1年間の体験と思い出は忘れません。本当に素晴らしい1年間になりました。斗南ロータリーの皆さん、寒河江ロータリーの皆さんには、とてもお世話になりました。本当にありがとうございました。



2016-2017年度 クラブ会員・出席率

ブロック	No	クラブ名	2016.7.1		2017.5.31			2017.6.30			年初からの増減数				累計出席率
			会員数 (女性会員数)		会員数 (女性会員数)		出席率	会員数 (女性会員数)		出席率	増 (女性会員数)	減 (女性会員数)			
第1ブロック	1	酒田	29	(3)	29	(3)	67.86	27	(3)	83.93	2	(0)	4	(0)	81.80
	2	酒田東	34	(5)	35	(5)	80.90	35	(5)	91.70	2	(0)	1	(0)	83.11
	3	酒田中央	35	(0)	38	(0)	84.33	37	(0)	88.43	4	(0)	2	(0)	86.29
	4	酒田スワン	15	(5)	16	(6)	79.69	15	(6)	78.13	1	(1)	1	(0)	86.31
	5	酒田湊	16	(3)	15	(3)	93.33	15	(3)	88.33	0	(0)	1	(0)	90.17
第2ブロック	6	鶴岡	33	(4)	33	(5)	89.29	28	(5)	86.61	2	(1)	7	(0)	83.82
	7	鶴岡西	33	(4)	33	(4)	79.69	33	(4)	71.88	2	(0)	2	(0)	80.02
	8	余目	27	(0)	29	(1)	72.32	29	(1)	98.21	3	(1)	1	(0)	82.37
	9	立川	14	(0)	14	(0)	86.11	14	(0)	85.00	0	(0)	0	(0)	83.32
	10	鶴岡東	29	(1)	29	(1)	85.33	28	(1)	87.01	2	(0)	3	(0)	82.30
	11	鶴岡南	20	(4)	20	(2)	81.58	20	(3)	81.05	4	(1)	4	(2)	83.02
第3ブロック	12	天童	43	(3)	43	(3)	93.46	45	(3)	96.05	3	(0)	1	(0)	96.86
	13	東根	33	(0)	34	(1)	70.59	34	(1)	70.59	2	(1)	1	(0)	73.23
	14	天童東	51	(0)	51	(0)	74.47	47	(0)	81.67	3	(0)	7	(0)	75.99
	15	天童西	19	(2)	19	(2)	89.47	18	(2)	92.11	1	(0)	2	(0)	86.38
	16	東根中央	49	(3)	46	(3)	52.72	45	(3)	79.89	1	(0)	5	(0)	73.28
	17	村山	10	(0)	10	(0)	100.00	10	(0)	100.00	0	(0)	0	(0)	100.00
	18	新庄	17	(2)	16	(2)	91.67	14	(2)	87.50	0	(0)	3	(0)	87.74
	19	尾花沢	20	(0)	19	(0)	80.70	19	(0)	84.20	0	(0)	1	(0)	82.30
	20	最上	23	(1)	23	(1)	50.96	23	(1)	65.14	0	(0)	0	(0)	51.83
	21	尾花沢中央	16	(1)	16	(1)	92.00	16	(1)	67.19	1	(0)	1	(0)	86.10
	22	村山ローズ	18	(5)	18	(5)	79.63	18	(5)	75.93	1	(0)	1	(0)	71.58
	23	新庄あじさい	16	(0)	15	(0)	93.33	15	(0)	96.67	0	(0)	1	(0)	91.13
第4ブロック	24	寒河江	52	(1)	54	(2)	72.70	52	(2)	85.31	4	(1)	4	(0)	87.85
	25	大江	18	(2)	18	(2)	94.27	18	(2)	92.88	0	(0)	0	(0)	92.30
	26	河北	29	(0)	30	(0)	89.08	30	(0)	84.11	2	(0)	1	(0)	86.13
	27	寒河江さくらんぼ	39	(3)	40	(3)	85.25	40	(3)	78.75	1	(0)	0	(0)	88.21
	28	西川月山	13	(0)	13	(0)	60.26	13	(0)	57.05	0	(0)	0	(0)	67.56
第5ブロック	29	山形	91	(2)	91	(2)	100.00	90	(2)	100.00	7	(1)	8	(1)	99.83
	30	山形北	60	(0)	61	(0)	91.18	58	(0)	91.16	3	(0)	5	(0)	91.40
	31	山辺	26	(0)	25	(0)	100.00	24	(0)	100.00	1	(0)	3	(0)	97.95
	32	山形南	50	(2)	54	(2)	100.00	53	(2)	100.00	6	(0)	3	(0)	99.88
	33	中山	12	(0)	12	(0)	75.00	12	(0)	76.92	1	(0)	1	(0)	76.90
	34	山形西	99	(0)	105	(0)	94.99	101	(0)	94.58	10	(0)	8	(0)	95.00
	35	上山	15	(2)	16	(2)	57.81	15	(3)	63.14	2	(1)	2	(0)	72.67
	36	山形東	35	(1)	35	(1)	72.85	32	(1)	75.88	0	(0)	3	(0)	79.01
	37	山形中央	41	(3)	41	(3)	93.70	40	(3)	93.13	1	(0)	2	(0)	94.64
	38	山形イブニング	31	(2)	32	(2)	60.46	30	(1)	70.00	3	(0)	4	(1)	68.57
第6ブロック	39	米沢	58	(6)	62	(8)	63.44	59	(8)	81.05	6	(2)	5	(0)	80.74
	40	米沢上杉	64	(3)	66	(3)	100.00	66	(3)	100.00	2	(0)	0	(0)	99.09
	41	高畠	52	(3)	51	(3)	58.17	49	(3)	81.96	0	(0)	3	(0)	72.27
	42	米沢中央	41	(5)	42	(5)	97.62	38	(5)	96.51	2	(0)	5	(0)	98.19
	43	米沢おしょうしな	28	(2)	29	(3)	74.14	28	(3)	67.24	1	(1)	1	(0)	76.29
	44	長井	30	(1)	30	(1)	62.21	29	(1)	81.17	0	(0)	1	(0)	75.49
	45	南陽	13	(1)	13	(1)	93.70	12	(1)	93.70	1	(0)	2	(0)	91.84
	46	白鷹	19	(0)	20	(0)	94.44	20	(0)	94.44	1	(0)	0	(0)	94.22
	47	小国	18	(0)	18	(0)	94.03	17	(0)	73.01	0	(0)	1	(0)	89.66
	48	南陽東	35	(2)	33	(2)	79.69	33	(2)	80.20	1	(0)	3	(0)	75.37
	49	長井中央	20	(1)	19	(1)	73.60	18	(1)	100.00	0	(0)	2	(0)	85.79
	50	南陽臨雲	28	(1)	31	(3)	82.50	30	(3)	82.25	3	(2)	1	(0)	77.83
合 計			1617	(89)	1642	(97)	81.81	1592	(98)	84.63	92	(13)	117	(4)	84.27

※()内は女性会員数



訃 報

佐々木 喆彦

2017年6月18日 ご逝去
享年88（鶴岡 R C）

新入会員紹介



えのもと く じ こ
榎本久静子

所属クラブ／鶴岡
職 業 分 類／生命保険
入 会 日／2017.1.10



たかやま ゆう じ
高山 裕司

所属クラブ／鶴岡
職 業 分 類／損害保険
入 会 日／2017.4.11



えんどう ゆう こ
遠藤 優子

所属クラブ／米沢中央
職 業 分 類／布・カーテン製造販売
入 会 日／2017.6.2



あ べ かずひろ
阿部 和宏

所属クラブ／鶴岡東
職 業 分 類／土地家屋調査士
入 会 日／2017.5.10



さ が い ひさし
寒河江 恆

所属クラブ／鶴岡東
職 業 分 類／商業銀行
入 会 日／2017.5.10



ポール・ハリス・フェロー 米山功労者



第5回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

有坂 敦
(米沢上杉)



第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

五十嵐正明
(米沢上杉)



第3回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

太田 政往
(米沢上杉)



第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中村 隆志
(米沢上杉)



新ポール・ハリス・フェロー

武田誠一郎
(米沢上杉)



新米山功労者
安部美和子
(米沢中央)



新米山功労者
佐藤 哲雄
(米沢中央)



第4回米山功労者マルチプル
佐竹 衛
(寒河江)

2800地区 2016-2017年度 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



第1号



第2号



第3号



第4号



第5号



第6号



第7号



第8号



第9号



第10号



第11号



第12号

編集後記



国際ロータリー第2800地区
2016-2017年度ガバナー月信
編集長 佐藤 知彰

2016-2017年度のスタート以来、本号（総括号）まで滞りなく発行出来ましたこと、長谷川ガバナー、伊藤地区幹事、地区役員のみなさん、ガバナー事務所スタッフのみなさん、そして地区ロータリアン各位のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

年度途中で印刷会社が変わるということがありましたが、ガバナーの迅速なご対応により、遅滞なく発行し続けることが出来ました。印刷をご担当いただきました石黒様並びに高橋様、原稿依頼等をしていただいたガバナー事務所の佐藤様にはご苦勞をおかけいたしました。

編集委員が集っての編集会議等は一度も開催せず、年度当初に各クラブ会長幹事様をお願い申し上げた通り、みなさまからの画像や原稿はメールにて、校正等もすべてメールのやり取りだけで作業を行いました。編集委員の作業負担軽減策としては、かなり効果的であったかと思います。

終わりに、1年間の感謝を申し上げ、編集後記とさせていただきます。

※編集は山形RC富岡・榎森・古川が担当いたしました。

表紙・裏表紙写真

第38回 山形大花火大会

《山形市》

山形の夏の風物詩である山形大花火大会は、今年で38回を迎える。今年の大会テーマは「雅～未来へ繋ぐ架け橋～」。趣向を凝らした豪華絢爛な花火が音楽と共に夜空を彩り、心舞うような大きな感動を届ける。



Rotary



ガバナー事務所
地区事務所
ホームページ

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F (8月10日をもって閉鎖いたしました。)
TEL:023-666-6673 FAX:023-666-6671 E-mail:ri2800@yamagata-rc.jp
〒994-0034 天童市本町2-1-31 天童セントラルホテル2F
TEL:023-687-0208 FAX:023-687-0209 E-mail:ri2800@muse.ocn.ne.jp
<http://www.rid2800.jp>